

いつも身近な存在でありたいと思っています

# 会宝通信 ~KAIHO Communication~

第170号

発行日 2016年1月1日発行

## 2016年 謹賀新年

皆さま明けましておめでとうございます。社長の近藤です。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年も多くの方とご縁をいただき、改めて感謝申し上げます。

当社では、会社見学を受け入れています。今年は826名（38組）の方が見学に来られました。これは一昨年の262名（14組）を大きく上回る数字でした。嬉しい限りです。

この背景には一昨年の「カンブリア宮殿」というテレビ番組で取り上げていただいた影響もあると思っています。今でも「テレビを見たのですが」という問い合わせが全国からあり、やはり全国放送の影響は凄いなと驚くと共に感謝しております。

嬉しいことに見学に来られた方が、次の見学グループを連れてこられるということもありました。また見学には来られなくても、お車買取やトレジャーチェア（自動車の椅子を再利用した腰に優しい椅子）のお問い合わせなどをいただくなど、テレビなどのマス媒体と共に、人から人へと伝わる

「ロコミ」の力にも驚きと感謝を感じております。

良きご縁は良き運命の始まりという言葉もありますが、まさに昨年はそのような一年でした。

会宝産業の社名の由来の1つに、漢字は違いますが「かいほうする（オープンな会社づくり）」という意味があります。当社は自動車リサイクル業を通じて、静脈産業を創造し、持続可能な循環型社会に貢献したいという想いがあります。

しかし、そのためには、もっともっと私たちの事業を知っていただく必要があると思っています。自動車リサイクル業とは実際にどんな仕事をしているのだろうか。なぜその事業が地球環境に貢献するのだろうか。そのために1人1人でも出来ることは何かあるのだろうか？

そんな「知っていただく場」として今年の夏も恒例のリサイくるまつりを開催する予定です。今年も会社を見学したいという団体様がいらっしゃれば、可能な限りお引き受けしたいと思っておりますので、その際はお気軽にお問い合わせください。



# ～広報コーナー～キラリと光る存在に

今日は 生産部 中里 太明 さんからコメントをいただきました！

・今月の出番・  
生産部  
中里 太明 さん

こんにちは！生産部の中里太明です。  
今回は、私の地元である青森県八戸市  
を紹介します。八戸市は、青森県の東  
部、太平洋側で岩手県沿いに位置し東京

から新幹線で約3時間の場所にあります。人口は23万人。金沢市の約  
半分程度の街です。そして八戸市といえば「せんべい汁」ですね。せん  
べい汁とは郷土料理で、醤油ベースの出汁、煎餅や鶏肉、野菜を煮立て  
た汁物の鍋料理です。社内でも大変好評で、第7回B-1グランプリでゴールドグランプリを受賞したくら

い美味です。ちなみに、この全国区で有名なB級グルメを集めた食の祭  
典「B-1グランプリ」も八戸市が発祥の地でもあります。

他にも八戸市には、有名な食が多くあります。特に、イカや貝などの  
魚介類は金沢に負けないくらい豊富で美味しいものがあります。  
ぜひ一度、八戸へ来てみてはいかがでしょうか！！満足すること間違い  
なしです！！八戸市民がおもてなしの心でお待ちしております！！



## 農業の取り組み

## ～ 農業事業部より ～

皆様あけましておめでとうございます。昨年中は、皆様から沢山の  
ご注文を頂き誠にありがとうございました。また、「甘くておいし  
かった」など、たくさんのお褒めの言葉を頂き、とても嬉しく、やり  
がいを感じた1年でした。重ねて御礼申し上げます。

2015年は年間を通して好天に恵まれ、今までで一番多い17t  
の収穫高となりました。特に6月は1ヶ月で6tもの収穫を記録しまし  
た。冬場になっても、比較的気温が高く、年末まで収穫する事が出来  
ました。12月初旬の暴風でハウスが一部破損するなどトラブルはあ  
りましたが、大事には至らず、本当に良い1年であったと思います。

今年は、廃油ヒーターを新たに導入し、更においしいトマト作りに  
取り組みます。今は、市場への出荷がメインですが、私たちを応援し  
て頂いている皆様との繋がりをより深め、より多くの方々に直接おい  
しいトマトをお届けしたり、農園に足を運んでいただけるような楽し  
いイベントを企画したいと思っています。スタッフ一同、心を込め  
て、更においしいトマト作りに励んでいきますので、今年  
も会宝農園をどうぞよろしく願いいたします。

(担当：畠中)



## 社員海外レポート ～ From World ～ モバイルポンプカー

こんにちは、海外事業部の鈴木です。先日、フィリピン出張に行ってきました。目的は、左ハンドルの軽トラックをカンボジアのお客様に届けるための買付けです。写真にある軽トラックは日本からフィリピンに輸出されたもので、これをここフィリピンで、右ハンドルから左ハンドルに転換・組立てを行うのです。このやり方は、もちろん日本のメーカー公認ではなく、現地の人々の知恵と経験をもとに開発されたものです。特別な技術や部品を必要とせず、元々の車両を切断・溶接して改造されています。そして驚くことに、フィリピンでは、この車輛が庶民の足である乗り合いタクシー、「ジブニー」に生まれ変わります。日本ではゴミ同然である車が、フィリピンの方々の移動手段としてかけがえのないものになっているのです。



さて、私たち会宝産業は、今この左ハンドルの軽トラックを活かして、カンボジアの農業灌漑に役立つ製品をつくっています。発想は簡単で、トラックの荷台に水を入れるタンクと、水を汲んで撒くことのできるポンプを載せるだけです。途上国の農村部では、特に乾季に灌漑設備がないために、作物の栽培ができず、困っている地域が多いのです。このモバイルポンプカーをもっと良い製品にするために、いま日本全国からアイデアをもらうコンペティションを開催しています。ぜひ興味ある方は、弊社HPをご覧ください。



こちらをクリックして下さい！



「元氣ライスプロジェクト(写真1枚で参加できるボランティア活動)」  
「写真を送る」という行動を、起こしていただいた皆様に感謝です。  
今後も出来ることから、進めていきますのでよろしくお願い致します。

●進捗報告

2015年12月31日現在 **9,104 SMILE**(2,034日経過)



## 今月のパチリ☆



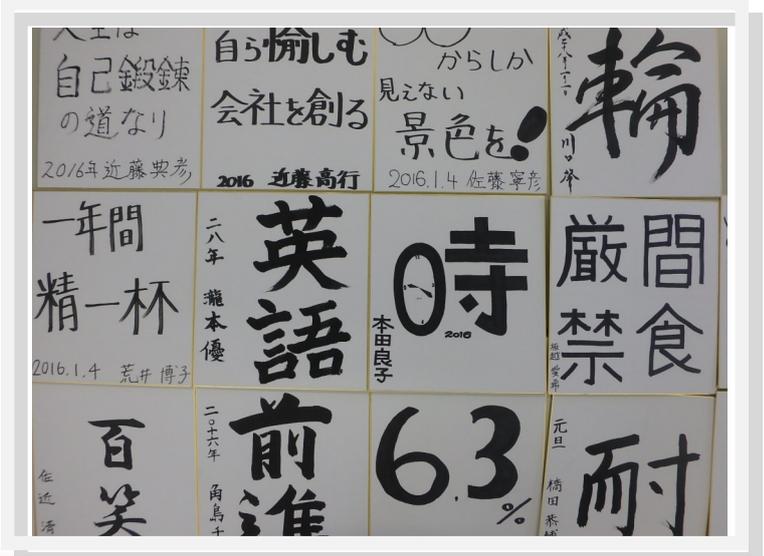
明けましておめでとうございます。本年も弊社の楽しい話題をお届けしたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、弊社では毎年最初の営業日に社員がその年の目標を発表(宣言)します。と言っても口頭で発表するのではなく、色紙にしたためそれを披露しながら発表します。

「英語」「間食厳禁」「前進」「一年間精一杯」など内容も字も十人十色。発表には1人1分の制限時間があるのですが、全社員が発表するので90分以上掛かります。でも、他の社員がどんなことに興味を持っているか、どんな目標を持っているかを知ることが出来、新しい一面が見えて聞いているだけでも楽しいです。

色紙はその後の1年間、会議室に掲示されます。今年も目標を達成できるように頑張ります！

(担当：松本)



12月実績

入庫台数 764台

処理台数 901台

## 相場情報 ～生産部より～

こんにちは。会宝産業の山口です。金沢でも遅い初雪となり、冬本番となってきました。

気になる相場に関してですが、先日「2016年度の鉄鋼需要の動向について」という指標が日本鉄鋼連盟より発表されました。

内容を要約すると、2016年は国内の公共投資は減っていくものの、消費税増税前の住宅投資や自動車、家電の販売増が見込まれ、オリンピック案件をはじめとする都市開発の始動から、持ち直しが期待されるとの見方でした。

ここまで読むと何か期待を膨らませてしまいましたが、更に読み進めていくと最後にはしっかりと中国の話が書いて有りました。中国の鉄鋼輸出増は2016年も続くと思われ、それによる世界的な需給緩和が更に広がり、日本の鉄鋼輸出量は2015年を下回るとの見解が強いようです。

日本国内はプラス要因が強くなる傾向が有りますが、2016年は海外の需要に関しての下振れリスクに関心が集まりそうです。

※参考：「2016年度の鉄鋼需要の動向について」一般社団法人 日本鉄鋼連盟より

## 今月のトピックス

～ ツエーゲン金沢のスポンサーとして～

会宝産業はツエーゲン金沢を応援していますが、パートナー企業として応援して5年。先月の2日の「ツエーゲン金沢シーズン報告会」において、感謝状をいただきました。

パートナー企業になった初年度はJFLというカテゴリーでしたが、その頃は、観客数が何百人というような試合もありました。

しかし、一昨年はJ3の初代チャンピオンになり、昨年はJ2初年度で22チーム中12位の好成績でした。前半は一時首位にたち、年間観客動員数も10万人を超え、ツエーゲン旋風を巻き起こした素晴らしいシーズンだったかと思えます。

地域に新しいスポーツ文化が生まれ、そこから街が活性化していくというJリーグの理念が少しずつ形になっているように感じています。金沢を盛りあげる仲間として、ツエーゲン金沢を地域のシンボルにするため、今後も出来る限りのことを行っていきます。（担当：佐藤）



### 会宝産業株式会社

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3

車輛課（車輛引取り・査定）

TEL 076-237-5347（直通電話ができました！）

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3

部品課（部品注文/担当：大森・鹿野・角島）

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp（担当：宮村）